

2005年度社会学専攻学事報告

2005年

4. 1

[学部・大学院担当教員]

2005年度は、学部は宇都榮子・川上周三・今野裕昭・柴田弘捷・嶋根克己・広田康生の6教授、樋口博美助教授、秋吉美都講師の専任教員8名の体制で、大学院は鐘ヶ江晴彦教授が加わった9名の体制で教育を行いました。大矢根淳助教授は、在外研究で1年間ニュージーランドのワイトカ大学(ハミルトン)に籍を置かれました。このほかに、本年度外部よりおいでいただいた兼任講師の先生方は、江頭説子(社会学A、社会学特殊講義Ⅱ)、榎本環(社会調査法特殊講義Ⅴ[社会調査基礎]、社会調査法特殊講義Ⅵ[調査設計と実施方法]、社会調査法特殊講義Ⅶ[データ分析基礎]、社会調査法特殊講義Ⅷ[質的データ分析法])、川西崇行(環境社会学、ゼミナールⅢ[3年]、ゼミナールⅣ[4年])、今野晃(社会学B、社会学思想史)、篠原清夫(社会統計法・実習3コマ)、庄司拓也(日本社会事業史)、徐向東(社会学B・神田)、スティーブ・リム(社会学特殊講義Ⅲ)、玉川貴子(ゼミナールⅡ[2年])、崔鶴山(社会学A、社会学特殊講義Ⅳ)、デビット・フット(社会学特殊講義Ⅰ)、中尾暢見(社会学・神田Ⅱ部、家族論)、馬場純子(社会福祉論Ⅱ、ゼミナールⅢ[3年]、ゼミナールⅣ[4年]、社会調査論・実習Ⅰ・Ⅱ)、福寛美(民俗学)、藤森啓(社会学B、現代社会論)、吉川忠寛(社会調査論・実習Ⅰ・Ⅱ)の諸先生。

大学院では、樽川典子(現代家族論：社会学特講ⅩⅡ)、吉川忠寛(社会学特講Ⅱ、社会学特講Ⅱ演習)の諸先生。

[専攻学生・院生(2005. 4. 1現在)]

学部社会学専攻(1・2・3・4年生)／コース(4年次生以上)所属の学生は、1年生90名、2年生92名、3年生88名、4年生以上71名の計341名。

大学院社会学専攻所属の院生は、修士課程1年生2名、2年生2名、博士後期課程3年生1名、4年次以上生2名、研究生1名。

- 4. 5 学部・大学院入学式
- 4. 11-7. 25 前期授業期間
- 4. 29-4. 30 社会学専攻1年生フレッシュマン・セミナー
於東京(国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 6. 1 専修大学社会学会2005年度第1回研究会(川崎研究会と共催)
報告者：今野裕昭教授
テーマ：「川崎市総合計画から見る都市川崎の変容過程」
- 7. 2 大学院修士課程学内選考入学試験
- 7. 13 専修大学社会学会2005年度第2回研究会(川崎研究会と共催)

報告者：柴田弘捷教授

テーマ：「数字で見る川崎市・区の変容－産業・就業構造を中心に」

7. 20 2005年度第1回大学院修士課程学位請求論文中間報告会
7. 27、8. 3 馬場純子講師担当社会調査実習実施 神奈川県川崎市・横須賀市・東京都葛飾区・町田市
8. 2－8. 4, 9 今野裕昭教授担当社会調査実習実施 神奈川県川崎市
8. 4－8. 7 吉川忠寛講師社会調査実習実施 神戸市長田区、兵庫県淡路市
8. 15－8. 19 樋口博美助教授担当社会調査実習実施 石川県輪島市
8. 25－8. 27 宇都榮子教授担当社会調査実習実施 千葉県君津市、館山市
9. 2－9. 3 秋吉美都講師担当社会調査実習実施 専修大学神田校舎
9. 7－9. 9 川上周三教授担当社会調査実習実施 東京都世田谷区
9. 8－9. 11 嶋根克己教授担当社会調査実習実施 沖縄県糸満市、他
9. 9－9. 11 広田康生教授担当社会調査実習実施 神奈川県横浜市
9. 12－9. 14 柴田弘捷教授担当社会調査実習実施 神奈川県川崎市
9. 16－1. 16 後期授業期間
10. 15 大学院修士課程第I期（一般・社会人・留学生）入学試験
10. 19 専修大学社会学会2005年度第3回研究会

報告者：鐘ヶ江晴彦教授

テーマ：「虹の会の歩みと参加者の成長の軌跡－戦争体験の継承方法と平和問題の学習プロセスに関する事例研究」

10. 26 社会学専攻2年次生に対するゼミナールⅢガイダンス
11. 9 2005年度第2回大学院修士課程学位請求論文中間報告会
11. 16 ゼミナールⅢ希望締切日（決定・発表 11. 17）
11. 30 専修大学社会学会2005年度第4回研究会（川崎研究会と共催）

報告者：廣田康生教授

テーマ：「ネオリベリズムの都市と多文化共生の行方」

12. 15 卒業論文提出最終日

2006年

1. 10 修士論文提出日
1. 11 社会学専攻1年次生に対するゼミナールⅡガイダンス（決定・発表 1. 12）
1. 11 2005年度専修大学社会学会総会および大会開催
総会
開会の辞：廣田康生（研究会・大会担当）
会長挨拶：宇都榮子（会長）（事業報告を含む）
会計報告：川上周三（会計）
会計監査報告：柴田弘捷

大会（代表卒業論文報告）：司会 玉川貴子（大学院博士課程）

報告Ⅰ 廣田藍子 コメンテーター：王・曉璐（大学院修士課程）

「経済発展が生み出す社会問題と児童の関わりについて
ータイで暮らす子どもたちをみてー」

報告Ⅱ 近藤広一 コメンテーター：高橋幸子（大学院修士課程）

「日本におけるインドシナ難民を取り巻く社会的環境と
難民社会の変容について」

報告Ⅲ 向谷有加 コメンテーター：服部あさこ（大学院博士課程）

「1970年代革新自治体の内部対立ー町田市革新
市政に胚胎したふたつの市民参加のかたちー」

- 1. 18 - 1. 27 卒業論文口述試験
- 2. 3 修士論文口述試験
- 2. 10 『専修社会学』第18号原稿締切、編集作業
- 2. 13 文学部人文学科社会学専攻入学試験
- 2. 25 大学院修士課程第Ⅱ期（一般・社会人・留学生）・博士後期課程
入学試験
社会学専攻専任教員、兼任教員懇談会開催 於：銀座中村屋レザ
ミ
- 3. 22 学部卒業式
大学院学位記授与式
『専修社会学』第18号発刊